
株式会社 ジー・テイスト
2010年3月期第2四半期
決算説明資料



2009年12月29日

会社概要

設立	昭和34(1959)年11月
本社所在地	仙台市若林区大和町5-33-18
事業内容	「平禄寿司」「とりあえず吾平」「ちゃんこ江戸沢」を中心に飲食店チェーンを展開。 学習塾「ITTO個別指導学院、英会話教室「NOVA」をエリアフランチャイザーとして展開。
資本金	9億57百万円 (2009年11月末現在)
売上高	134億29百万円 (2009年3月期)
店舗(校舎)数	直営272店舗 FC129店舗 (2009年9月末現在)
社員数	549名 (2009年9月末現在)
パート数	1,292名 (第2四半期会計期間平均)
親会社	株式会社 ジー・コミュニケーション

トピックス

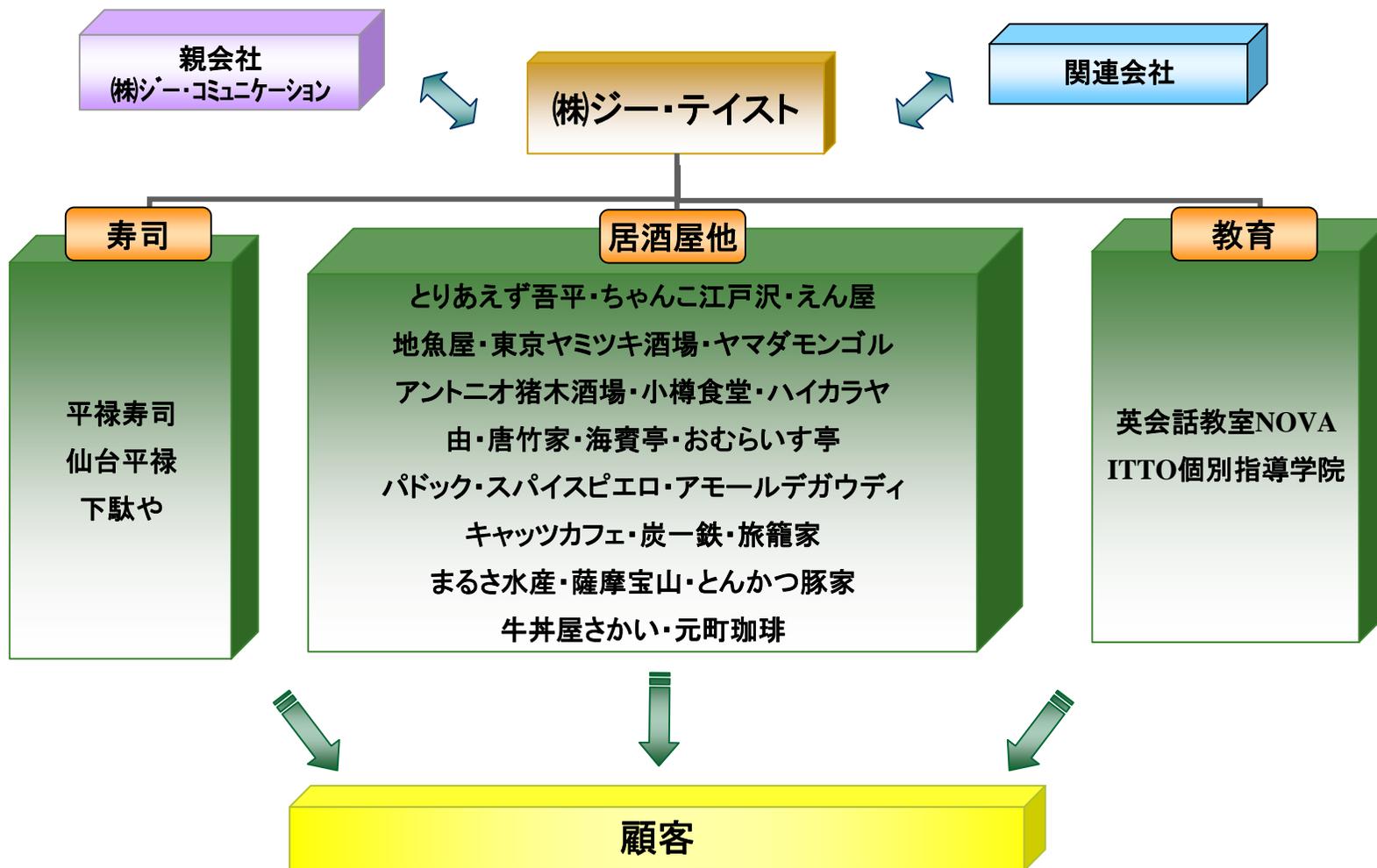
[2009年]

- 4月 1日 『株式会社グローバルアクト』を子会社化
- 17日 「とりあえず吾平」新規店舗でランチ営業開始
- 29日 平禄寿司 宅配エリアを仙台全域に拡大
- 8月 1日 『株式会社グローバルアクト』と合併
- 20日 平禄寿司海外2号店「タイ・サイアム店」開店

同じグループ会社である(株)グローバルアクトとの合併により、直営店舗数が272店舗となり、営業エリアも北海道から静岡県までと広がりました。お互いの業態スキルの有効活用も進み、今まで築いてきた顧客基盤を大事にし、さらにサービス向上を目指していく土台ができました。

事業系統図

※2009年8月1日(株)グローバルアクトとの合併により、運營業態数が28となりました。(2009年9月30日現在)



業績ハイライト

2010年3月期第2四半期 貸借対照表(要約)

(単位:百万円、%)

		当第2四半期会計期間末 (09年9月30日)	構成比	前事業年度末 (09年3月31日)
資産の部	流動資産合計	976	7.5	1,700
	固定資産合計	12,120	92.5	8,471
	(有形固定資産)	5,829	44.5	2,985
	(無形固定資産)	1,929	14.7	126
	(投資その他の資産)	4,362	33.3	5,359
	資産合計	13,097	100.0	10,172
負債の部	流動負債合計	3,797	29.0	3,044
	固定負債合計	4,168	31.8	2,547
	負債合計	7,966	60.8	5,592
純資産の部	株主資本合計	5,131	39.2	4,580
	評価・換算差額等合計	0	-	0
	純資産合計	5,131	39.2	4,579
負債純資産合計		13,097	100.0	10,172

業績ハイライト

◆財政状態

	当第2四半期会計期間末 (2009年9月30日)	前事業年度末 (2009年3月31日)
総資産 (百万円)	13,097	10,172
純資産 (百万円)	5,131	4,579
自己資本比率 (%)	39.2	45.0
1株当たり純資産 (円)	111.10	123.04

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ2,925百万円増加し、13,097百万円となりました。主な要因は(株)グローバルアクトとの合併による有形固定資産の増加2,843百万円、敷金及び保証金の増加2,072百万円によるものです。

負債総額は、前事業年度に比べて2,373百万円増加し、7,966百万円となりました。主な要因は合併等による長短借入金の増加187百万円、社債(1年内償却予定分含む)の増加1,785百万円によるものです。

業績ハイライト

◆キャッシュフローの状況

(単位:百万円)	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	前事業年度末
営業活動によるキャッシュ・フロー	△309	△251	226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△210	△768	△174
財務活動によるキャッシュ・フロー	375	83	457
現金及び現金同等物四半期末残高	315	131	969

①営業活動によるキャッシュ・フロー・・・前年同四半期に比べ58百万円支出が減少し、251百万円の支出となりました。これは税引き前四半期純損失149百万円の計上など資金減少要因があるものの、合併に伴う抱合せ株式消滅差損313百万円の計上、法人税等の支払額の減少に伴う資金増加要因が発生したことによるものです。

②投資活動におけるキャッシュ・フロー・・・前年同四半期に比べ557百万円支出が増加し、768百万円の支出となりました。これは関係会社株式の取得による支出770百万円があったこと、また前年同期において、事業譲受による支出246百万円があったことによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー・・・前年同四半期に比べ292百万円収入が減少し、83百万円の収入となりました。これは、社債と新株予約権付社債の発行による収入が750百万円あるものの、借入金の減少が536百万円あったことによるものです。

業績ハイライト

2010年3月期第2四半期損益計算書

(単位:百万円、%)

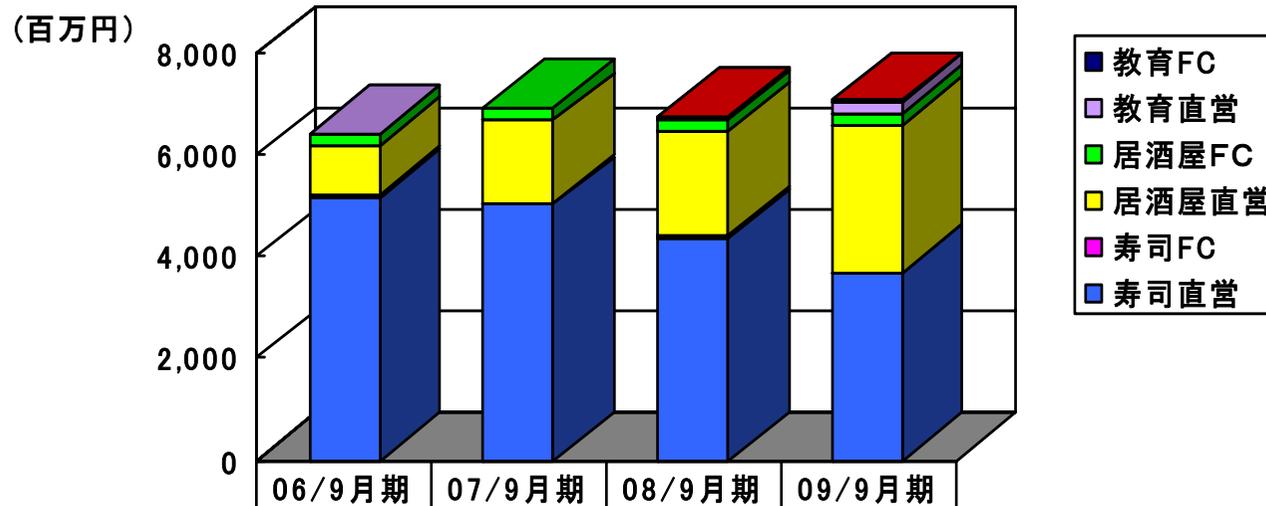
	前第2四半期 累計期間	百分比	当第2四半期 累計期間	百分比	前期 増減率
売上高	6,787	100.0	7,089	100.0	4.4
売上総利益	4,373	64.4	4,558	64.0	4.2
販売費及び一般管理費	4,066	59.9	4,444	63.0	9.3
営業利益	307	4.5	114	2.0	△62.9
経常利益	403	5.9	199	3.0	△50.5
当期純利益	193	2.9	△181	-	-

～経営成績について～

平成21年8月1日に株式会社グローバルアクトを吸収合併したことにより、業容の拡大を図りながら本社機能の統合による間接コストの低減化を図りました。しかしながら、低調な個人消費を背景に来客数が減少し、既存店売上高が減少、合併効果により前年同期比で増収になったものの、コストの増加も伴い対売上比率でも大幅に費用が増加しました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は、7,089百万円(前年同四半期比4.4%増)、営業利益114百万円(同62.9%減)、経常利益199百万円(同50.5%減)、合併時の抱合株式消滅差損等特別損失を367百万円を計上したことから当期純損失181百万円となりました。

部門別売上高



(単位:百万円)

※FC向売上高は、それぞれの部門のロイヤリティ及びFC向け販売売上高等になります。

※寿司部門=平禄寿司、仙台平禄、仙台下駄や、味香。

居酒屋部門=とりあえず吾平、ちゃんこ江戸沢、えん屋、地魚屋、東京ヤミツキ酒場、ヤマダモンゴル、アントニオ猪木酒場
由、唐竹家、海資亭、パドック、スパイスピエロ、アモール・デ・ガウディ、小樽食堂、ハイカラヤ、おむらいす亭
キャッツカフェ、牛井屋さかい、炭一鉄、旅籠家、まるさ水産、薩摩宝山、とんかつ豚家、元町珈琲。

教育部門=NOVA、ITTO個別指導学院。

出店及び退店の状況～外食～

20010年3月期第2四半期の出退店

出店：5店舗（業態変更含む）

宮城県（1店） とりあえず吾平 仙台若林遠見塚店 山形県（1店） とりあえず吾平 山形城西店
福井県（1店） とりあえず吾平 福井学園店 石川県（1店） とりあえず吾平 石川金沢駅西店
埼玉県（1店） 東京ヤミツキ酒場 埼玉川口店

★合併による増加:91店舗

茨城県（1店） 栃木県（1店） 埼玉県（13店） 千葉県（10店） 東京都（37店）
神奈川県（15店） 静岡県（14店）

退店：3店舗

福島県 2店舗 石川県 1店舗

《参考》FC出店：14店舗

東京都（1店） 岐阜県（1店） 三重県（1店） 兵庫県（2店）
愛知県（4店） 岡山県（1店） 大阪府（2店） 沖縄県（2店） すべて「とりあえず吾平」

出店及び退店の状況～教育～

2010年3月期の第2四半期開校

開校：3校舎

福島県（3校） NOVA郡山駅前校
INOVA福島会津若松神明通校
ITTO福島会津若松扇町校

閉校：該当なし

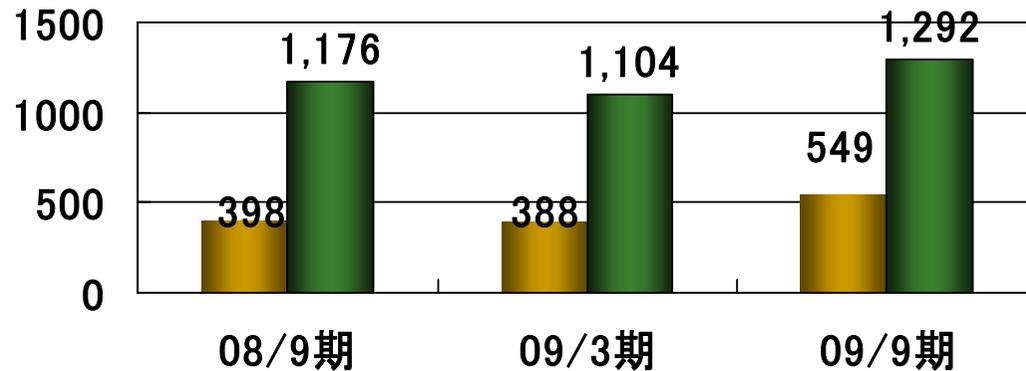
正社員及びパート社員の人員数

2009年9月末現在



正社員	パート
549	1,292

(単位:人)



正社員
パート

※08.9期、09.3期パートは8時間換算
※09.9期パートは当第2四半期会計
期間の平均

今後の取組み

○100円均一回転寿司の開始

11月16日岩手久慈店のリニューアルオープンを皮切りに、新業態「奥羽寿司製作所」を開店いたしました。現在の経済情勢を反映した、100円均一価格の回転寿司で、平禄寿司の良さを活かした低価格で満足のいただけるお寿司を提供し、業績改善に繋げてまいります。11月に3店舗、12月に1店舗を開店し、1月以降もさらに進めてまいります。

○不振店舗の業態転換・整理

スクラップアンドビルドを積極的に進めてまいります。合併により自社業態が増え、不振店を「とりあえず吾平」以外の好調業態へ変更することも容易になりました。また、同時に整理していくことで、業態変更の効果がより表れてくると考えております。

○「飲みネット」導入開始

複数の飲食店をテレビ電話でつないで、離れた場所にある店舗のお客様同士が同時に宴会や食事会を楽しめるシステムです。グループで開発したシステムを使い、新しいサービスを展開していきます。

2010年3月期 業績予想

(単位:百万円、%)

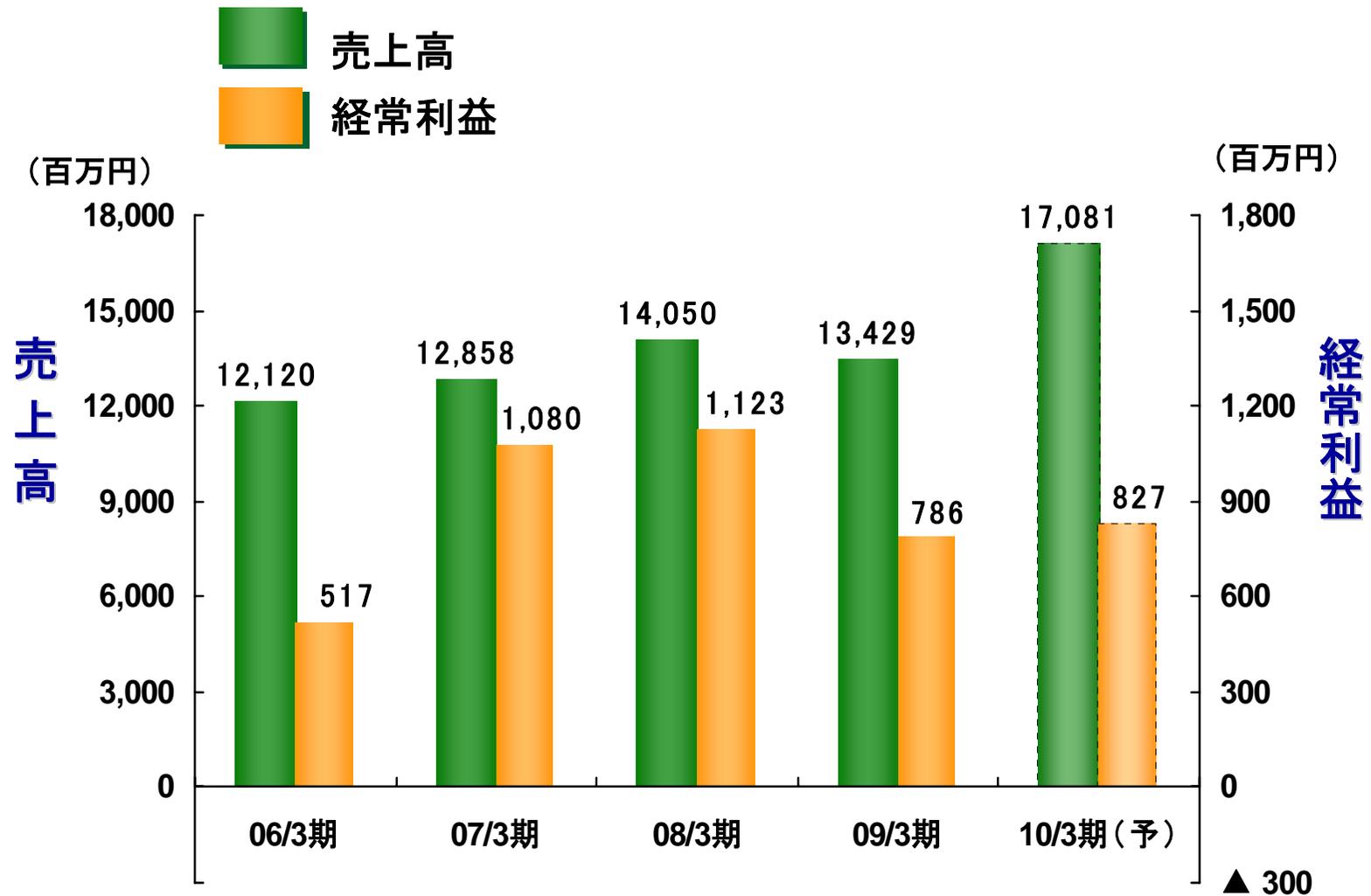
	09年3月期	百分比	10年3月期(予)	百分比	前期増減率
売上高	13,429	100.0	17,081	100.0	27.2
売上総利益	8,579	63.9	11,099	65.0	29.4
営業利益	596	4.4	712	4.2	19.5
経常利益	786	5.9	827	4.8	5.2
当期純利益	34	0.3	468	2.7	-

～業績予想修正について～

2009年11月11日上記の通り、当期業績の修正を発表いたしました。

個人消費の減退感が今後も継続し客数の回復は難しいと考えております。これまでの既存店舗の売上高減少、新規出店の遅れ等の影響で第3四半期以降の売上高を12.0%下方修正し、通期17,081百万円(当初予想比:2,496百万円減少)となる見通しです。売上高の下方修正により、営業利益は712百万円(当初予想比:489百万円減少)、経常利益は827百万円(同411百万円減少)、当期純利益は468百万円(同577百万円減少)となる見通しです。

業績推移(予想)



全業態紹介



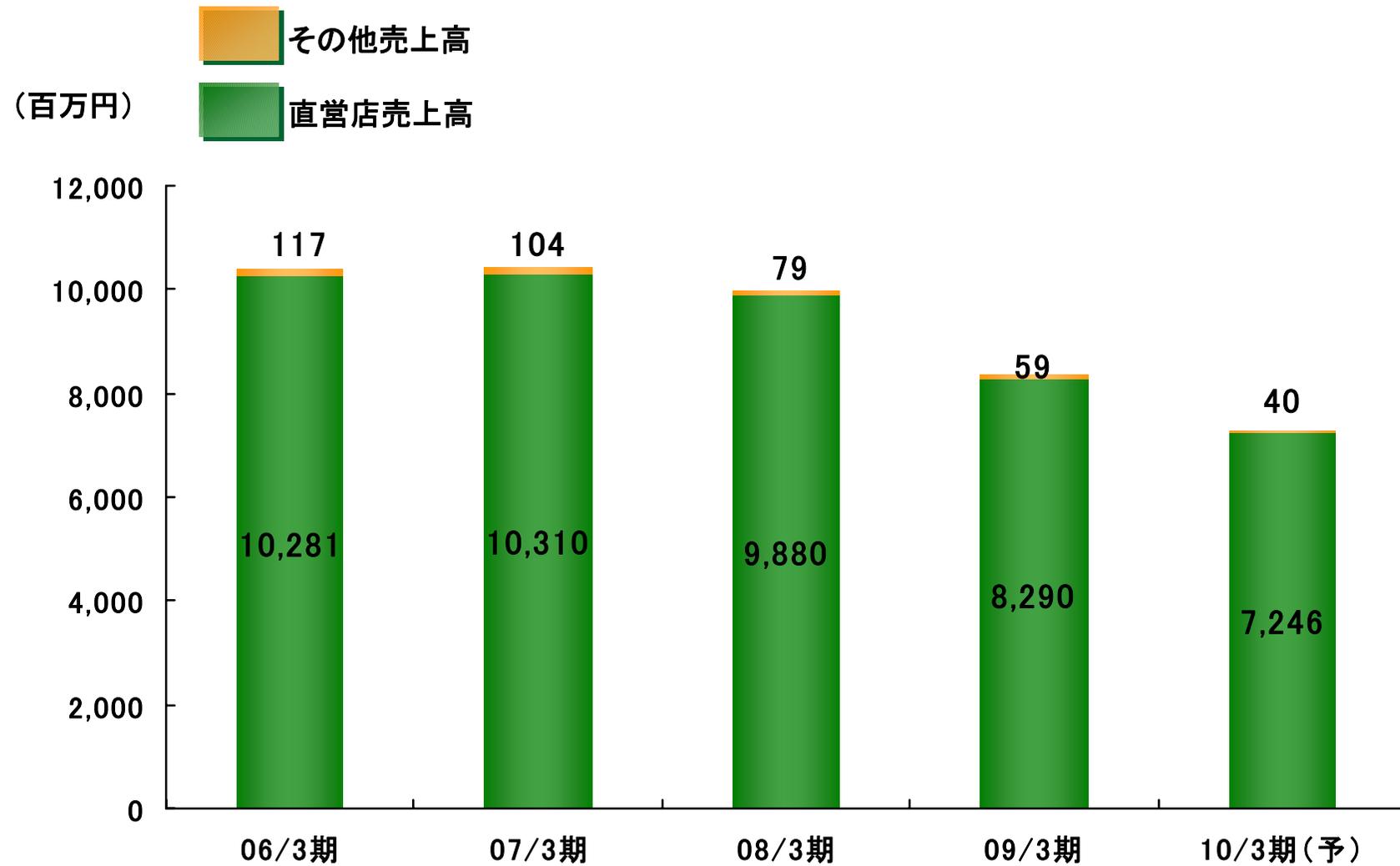
8月1日の合併により本部業態18となり、運營業態は全28業態となりました。

(2009年11月末現在)

寿司部門の概況

 平禄寿司 仙台平禄 仙台下駄や
~すし~

寿司部門のセグメント別売上高

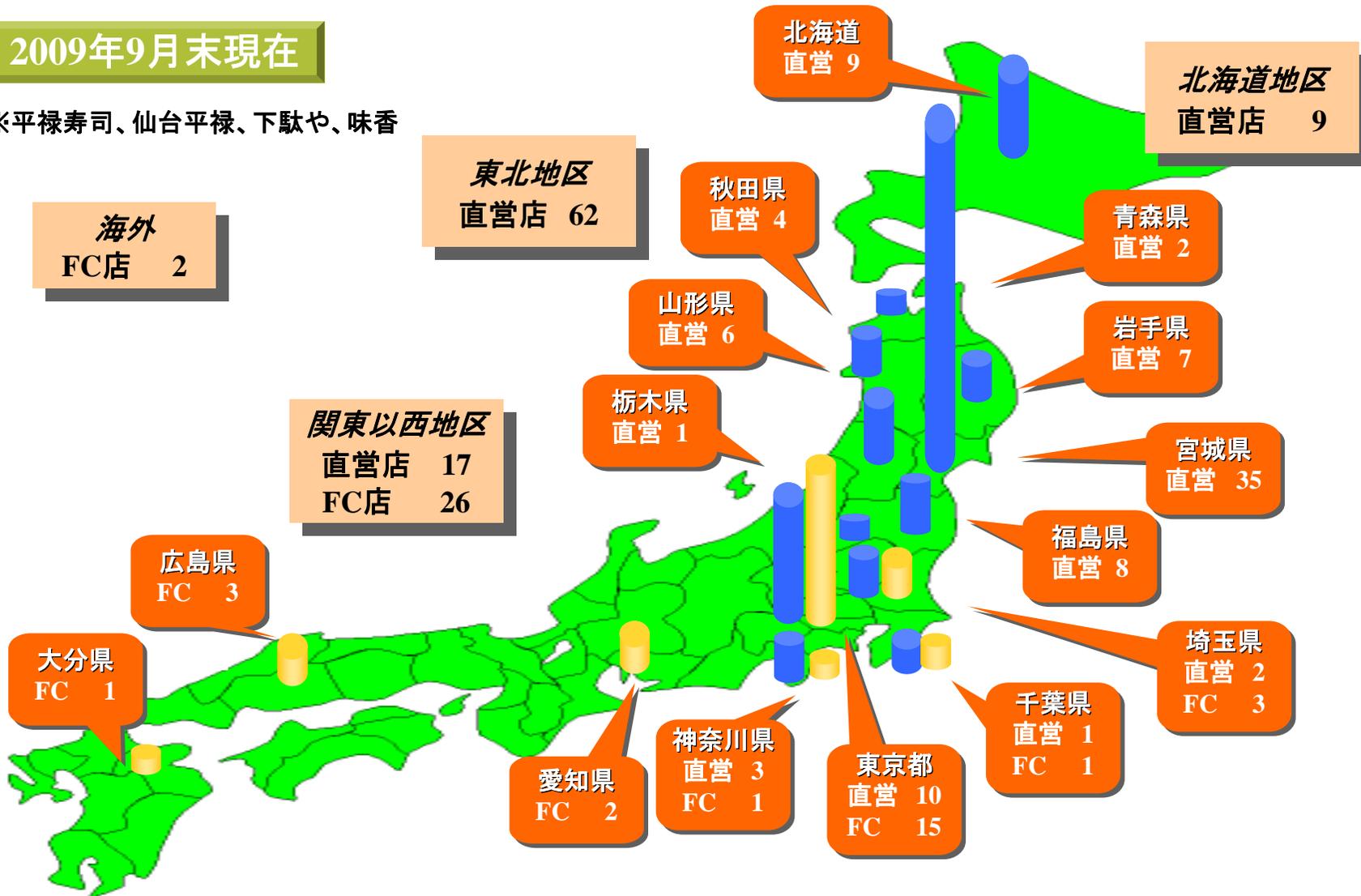


寿司部門地域別店舗数

(単位:店)

2009年9月末現在

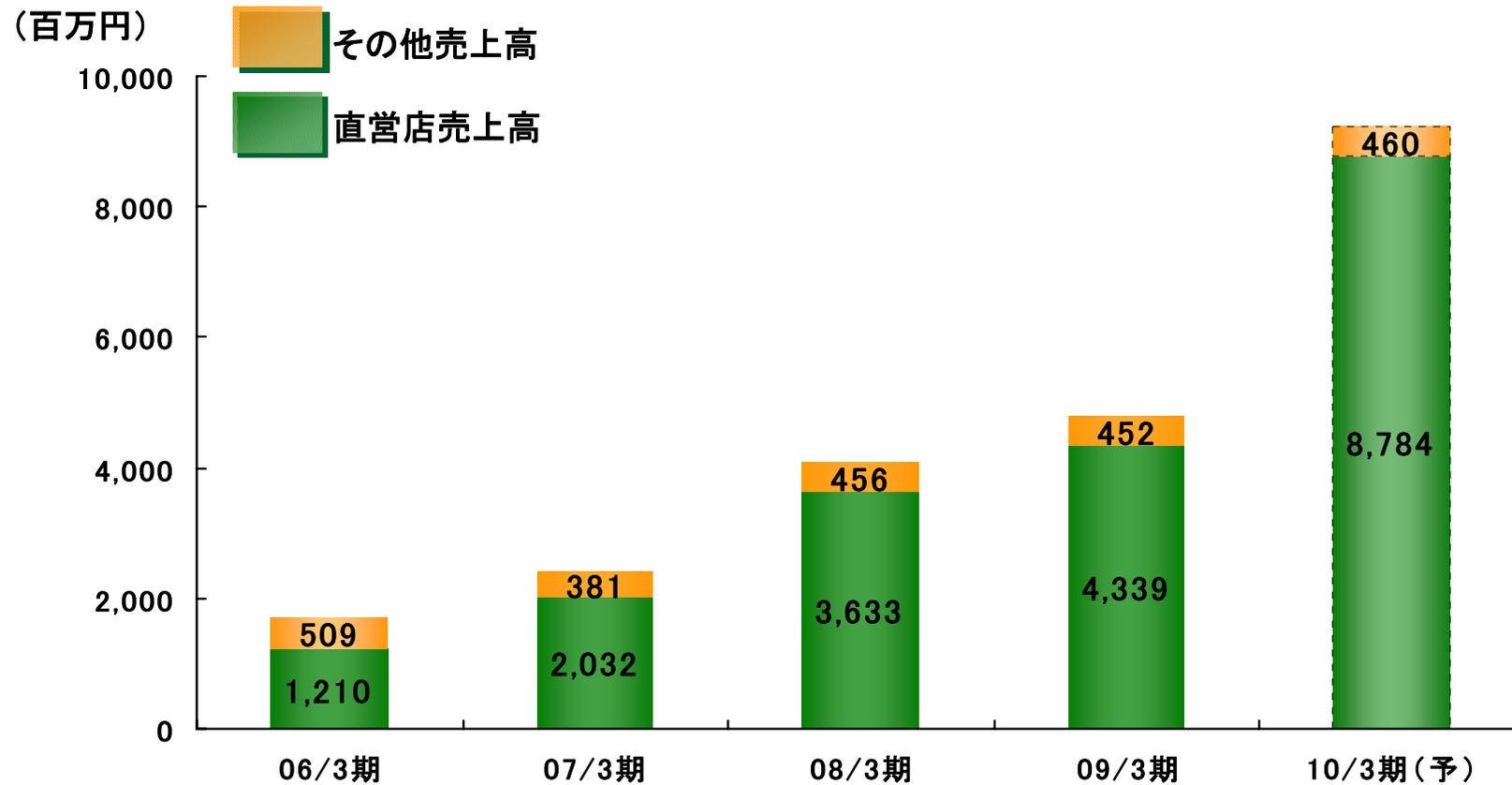
※平禄寿司、仙台平禄、下駄や、味香



居酒屋他部門の概況



居酒屋他部門のセグメント別売上高



(注)2005年8月19日(2006年3月期)に居酒屋部門を譲受けいたしました。

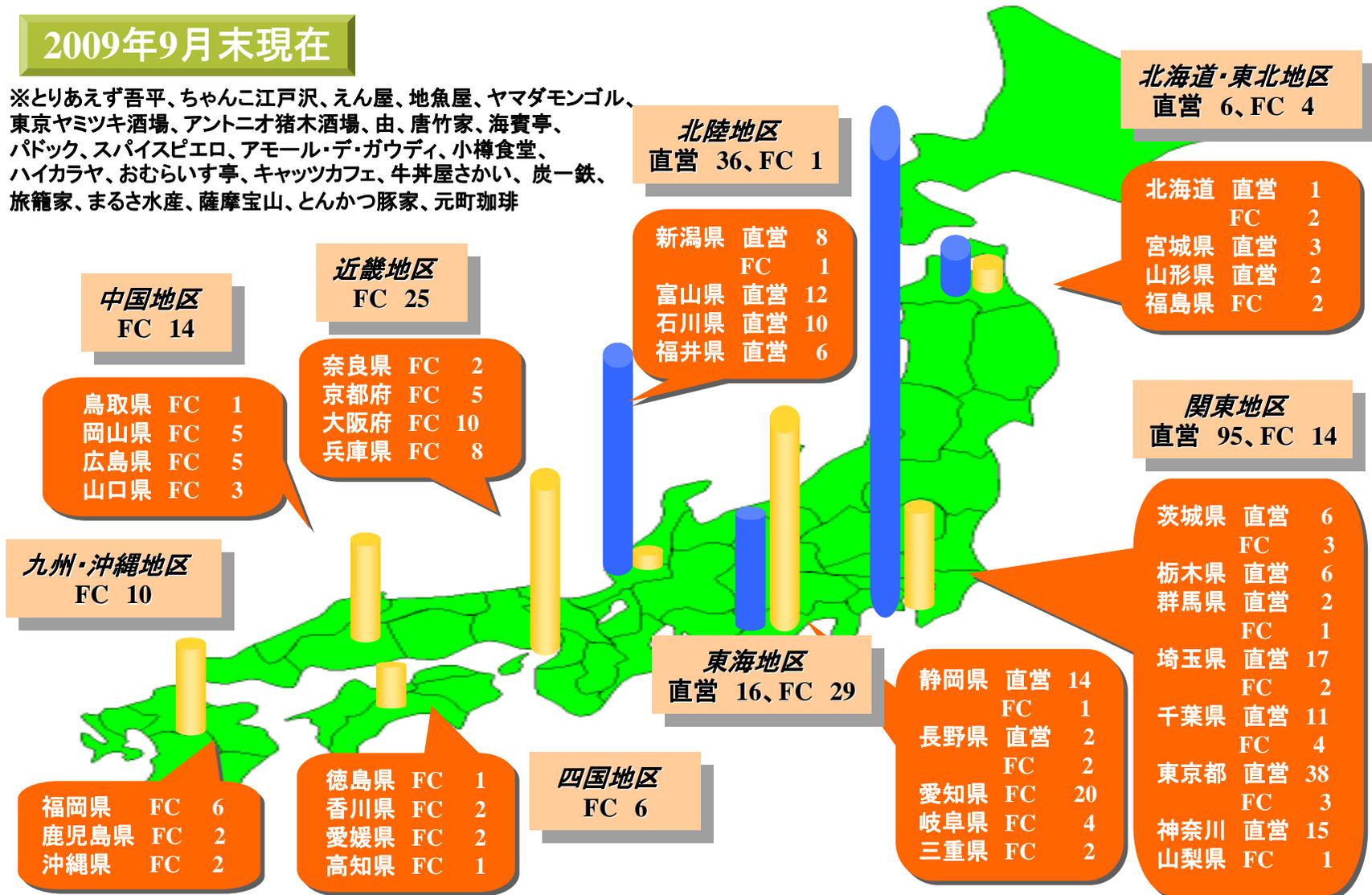
(注)2009年8月1日(株)グローバルアクトと合併により91店舗増加しました。

居酒屋部門地域別店舗数

(単位: 店)

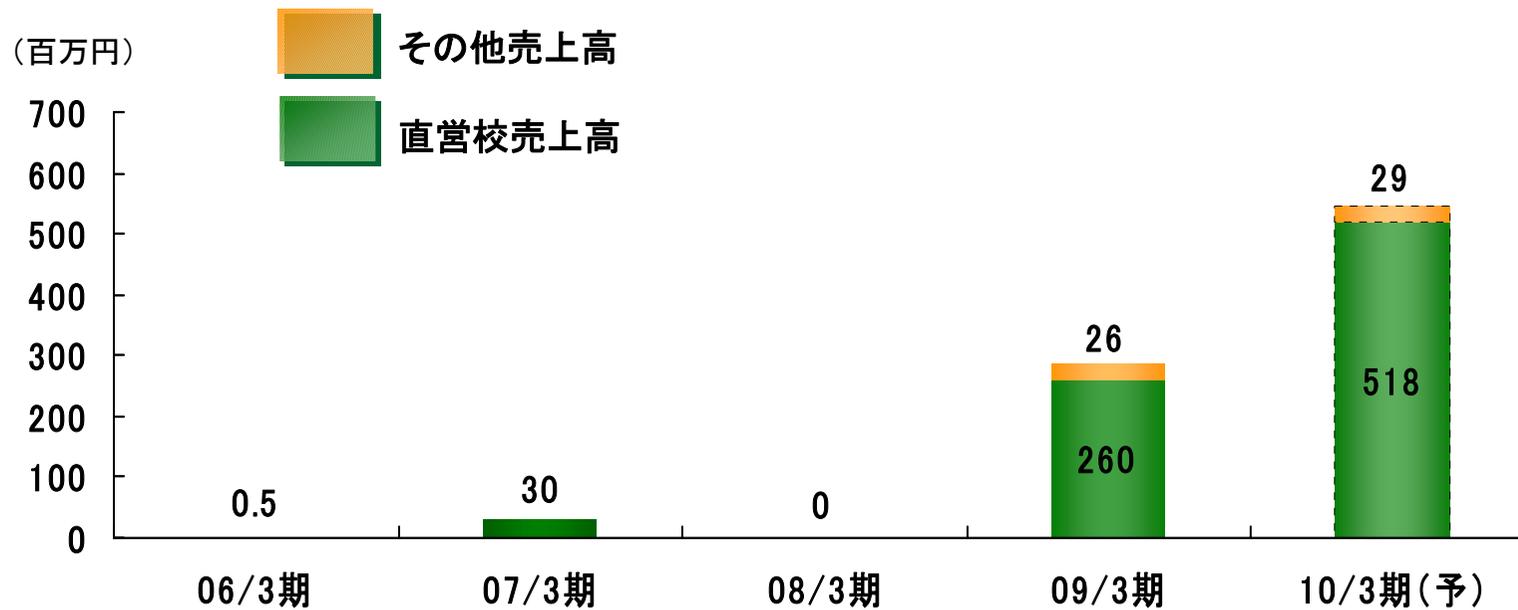
2009年9月末現在

※とりあえず吾平、ちゃんこ江戸沢、えん屋、地魚屋、ヤマダモンゴル、東京ヤミツキ酒場、アントニオ猪木酒場、由、唐竹家、海寶亭、パドック、スパイスピエロ、アモール・デ・ガウディ、小樽食堂、ハイカラヤ、おむらいす亭、キャッツカフェ、牛丼屋さかい、炭一鉄、旅籠家、まるさ水産、薩摩宝山、とんかつ豚家、元町珈琲



教育部門の概況

教育部門のセグメント別売上高



地域別校舎数

東北地方 (NOVA7校舎、ITTO13校舎)		関東地方 (NOVA6校舎)	北陸地方 (NOVA5校舎)
青森県 1	宮城県 7	茨城県 3	新潟県 1
岩手県 1	福島県 9	栃木県 2	富山県 1
秋田県 1		群馬県 1	石川県 2
山形県 1			福井県 1